

(様式4)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	川本町立川本中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な 学習の時間	江川太鼓をとおして	江川太鼓同好会・江川太鼓 しまねの文化芸能体験事業
ねらい	江川太鼓の練習・演奏をとおして、自分から周囲や地域の方と関わる力の向上を図ることができ、また伝統芸能に携わる方々との関わりをとおして、ふるさとを愛し、ふるさとに自分から関わろうとする思いを高めようとする。		
<p>1 取組の概要 江川太鼓をとおして… ○江川太鼓同好会の方や地域の方とのかかわりを深める。 ○伝統芸能に関心をもつ。 ○地域貢献について考える。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・ふるさとに愛着をもつ。 ・地域の一員として、地域貢献活動にかかわる。 (学力育成の視点から) ・自己肯定感を高める。 ・自己有用感を高める。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・江川太鼓の練習をとおし、同好会の方の思いを理解したり、練習の成果を披露したりすることにより、自分自身でも継承していきたいという思いをもつ生徒もいた。 ・文化祭での演奏だけではなく、老人ホームに出向き披露した。コロナ禍で外部の方と接することができなかった入所者の方のために、自分たちにできることを考え、気持ちを込めて演奏することができた。 ・訪問をきっかけに、老人ホームに入所しておられる方に、巨大年賀状を作成し贈呈する活動にも発展した。 (学力育成の視点から) ・同好会の方の温かい励ましの言葉や指導を受け、曲を完成させることができたことにより、達成感を味わうとともに自己肯定感を高めることができた。 ・文化祭での保護者の方の賞賛のことばや、老人ホームに入所されている方の涙ぐまれている姿を見て、自分たちの演奏が人の心を打つということを実感することができた。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

4 課題や今後の展望

- ・ 課題として、地域の活動に生徒が主体的に参加できるような支援の在り方を検討する必要があると考える。生徒発信で参加者の呼びかけをしたり、地域の活動に参加しやすいように他の活動を制限したりする必要があると考える。
- ・ 本町は教育委員会から、ふるさと教育をはじめすべての教育活動で多大な支援を受けている。今後も教育委員会や、町、町の施設などとの連携を密に保っておく必要もあると考える。



* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)